

国際公共政策学位プログラム(博士前期課程)

専門基礎科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OAA3010	国際公共政策論	1	1.0	1・2	春AB	水2	3K220	赤根谷 達雄, 関根久雄, ウラノ エジソン, ヨシアキ, 柏木 健一, 東野 篤子, 鈴木 創, 五十嵐 泰正	国際的価値の実現と国内的価値の保護との葛藤という現実的な課題に社会科学の立場から深く取り組み、国際社会における普遍的価値の理解を踏まえ、国際的な公共の利益に資するための最適な処方や有意義な提言を行うための思考力や研究能力を養成する。特に、政治学、社会学、国際関係論、政治経済学の分析視角から公共政策の実践と参画について深く考察する。	01DF107と同一。
OAA3015	地域研究論	1	1.0	1・2	春AB	水1	8A409	茅根 由佳, 箕輪真理, ウラノ エジソン, ヨシアキ, 臼山 利信, 柏木 健一, ダダバエフ ティムール, 塩谷 哲史, 堤 純, 毛利 亜樹	世界の諸地域の特質とともに地域を解明する枠組み等について、人文・社会科学の視点からアプローチし、地域研究の在り方をオムニバス講義を通して学ぶ。また、ラテンアメリカ、東アジア、東南アジア・オセアニア、ロシア・ユーラシア、中東・北アフリカを含む世界各地域を、政治学、経済学、歴史学、地理学、言語学の分析視角から総合的・学際的に理解することを目指す。	01DP502と同一。
OABC000	社会学基礎理論A	1	1.0	1・2	秋AB	水5	3K220	黄 順姫, 奥山 敏雄, 土井 隆義, ウラノ エジソン, ヨシアキ, 葛山 泰央, 森 直人, 野上元, 五十嵐 泰正	社会学の基礎理論を古典的なものから最新のものに至るまで広範に修得すると共に、社会学の各分野の成果を踏まえ、各自の問題を設定し、データを収集し、仮説を検証する仕方で一定の社会学的考察を展開しながら、修士論文執筆のための基本的な研究計画を作成するための訓練を行う。Aではおもに、社会学の各分野の基礎理論を修得することを目指す。	西暦偶数年度開講。
OABC001	社会学基礎理論B	1	1.0	1・2					社会学の基礎理論を古典的なものから最新のものに至るまで広範に修得すると共に、社会学の各分野の成果を踏まえ、各自の問題を設定し、データを収集し、仮説を検証する仕方で一定の社会学的考察を展開しながら、修士論文執筆のための基本的な研究計画を作成するための訓練を行う。Bではおもに、社会学の各分野の成果を踏まえ、修士論文執筆のための基本的な研究計画を作成することを目指す。	2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講
OABC002	国際関係論A	1	1.0	1・2	秋AB	水2	3K219	赤根谷 達雄, 中村逸郎, 関根 久雄, 南山 淳, 鈴木 伸隆, 柏木 健一, 東野 篤子, 鈴木 創, 毛利 亜樹	国際関係論において高度な研究を推進し得る基礎的能力を開発し、変動する国際関係やグローバルな政治経済上の課題に対して、多様な視点から対応策を提示できる柔軟な思考力を育成することを主な目的とする。特に、国際政治学や国際関係論に加え、文化人類学、国際政治経済学の分析視角も含めて、雑化・多様化・重層化する国際関係現象を総合的・学際的に理解することを目指す。	
OABC003	国際関係論B	1	1.0	1・2	秋AB	月2	8A409	ダダバエフ ティムール	This class will focus on the analysis of Japanese diplomacy, Japanese involvement and recent developments in Eurasian Community construction, and relations between Japan and post-Soviet states of Eurasia	01DP412と同一。 英語で授業。
OABC004	公共政策論A	1	1.0	1・2	春AB	木3	8A107	川崎 レスリー タック	The main goals of this course are to introduce students to the major theoretical streams in public policy and policymaking, as well as explore approaches to public policy research that combine policy and political analysis. The fundamental goal of public policy is problem-solving, and that is also the main objective of the class. Together, we will explore how this goal is accomplished. We will do so by identifying the relevant policy actors and institutions, policy needs and constraints, and, ultimately, why some public policies succeed and others fail.	西暦偶数年度開講。 01DP728と同一。 英語で授業。
OABC005	社会開発論	1	1.0	1・2	秋AB	木4		箕輪 真理	本講義では、社会開発論を学ぶための基礎的科目として、発展途上国の教育、保健、医療等の分野における開発課題に関する経済学の実証分析の文献をレビューしつつ、教育や保健、貧困削減、他の関連する分野に関し、様々な政策的課題について議論する。分析のツールとして、経済学の実証分析の基礎的手法を学びつつ、実証分析のツールが社会開発分野の政策研究にどのように適用され、また、どのような学術的・社会的成果が得られているのかについて考察する。	総合A107 英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC006	政策評価分析		1	1.0	1・2	春C	応談	松島 みどり	In this class, students will learn how policies and programmes influence our lives as individuals, families, and communities. Also, students will gain knowledge about policy and programme evaluation. We will explore actual examples from around the world using literature and critically discuss policy and/or programme issues at all levels of governmental and non-governmental policy regimes. Further, we will explore how the impact of a policy differs depending on the beneficiaries and which factors contribute to these differences.	01DF608と同一。 英語で授業。

専門科目(国公共通)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC500	国際公共政策リサーチワークショップA	2	3.0	2	春ABC	応談		国際公共政策学位プログラム全教員	研究倫理を踏まえ、研究関心や着想を修士論文のテーマ設定に結び付け、かつ、自立的に研究プロセスを管理する能力及びリサーチデザイン能力の育成を図る。また、指導教員による指導を継続的に受け、修士論文作成を進める。	必須科目
OABC501	国際公共政策リサーチワークショップB	2	3.0	2	秋ABC	応談		国際公共政策学位プログラム全教員	研究倫理を踏まえ、研究関心や着想を修士論文のテーマ設定に結び付け、かつ、自立的に研究プロセスを管理する能力及びリサーチデザイン能力の深化を図る。また、指導教員による指導を継続的に受け、各自の研究を深化させるとともに、修士論文を作成する。	必須科目

専門科目(国際関係分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC100	現代政策過程分析A	1	1.0	1・2	春AB	木5	人社A519	竹中 佳彦	政策過程を分析するために必要な理論や方法の基礎を習得するために、欧米や日本で展開されている最新の政治理論、分析枠組とその実証例について焦点を当てて、文献講読と学生との議論を通じて検討する。また、具体的事例として、日本の政治についても分析の対象としつつ、政策過程分析についての基礎的理解を深める。	西暦偶数年度開講。
OABC101	現代政策過程分析B	1	1.0	1・2					政策過程分析するために必要な理論や方法についての理解を深めるために、欧米や日本で展開されている最新の公共政策の理論、分析枠組とその実証例について焦点を当てて、文献講読とそれに基づく学生との議論を通じて検討する。また、具体的事例として、日本の公共政策についても分析の対象としつつ、政策過程分析についての総合的理解を深める。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC102	比較政治学A	1	1.0	1・2	春AB	火1	人社A519	鈴木 創	現在の比較政治学やアメリカ政治研究は、政治現象を説明する一般化可能な理論を構築し、それを経験的に検証する性格をますます強めている。この授業では、比較政治学(またはアメリカ政治研究)に関する具体的なトピックをとりあげて論じる。その際、テーマとする政治現象の内容を理解するだけでなく、それを分析するための理論や方法論の有用性と限界を検討することも目標とする。	西暦偶数年度開講。
OABC103	比較政治学B	1	1.0	1・2					現在の比較政治学やアメリカ政治研究は、政治現象を説明する一般化可能な理論を構築し、それを経験的に検証する性格をますます強めている。この授業では、アメリカ政治研究(または比較政治学)に関する具体的なトピックをとりあげて論じる。その際、テーマとする政治現象の内容を理解するだけでなく、それを分析するための理論や方法論の有用性と限界を検討することも目標とする。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC104	国際政治理論A	1	1.0	1・2	春AB	火3	人社A519	南山 淳	近年のグローバルな政治現象は複雑化しており、それを説明する国際政治の理論も多様な変化を undergone。本講義では、国際政治理論の最新の研究動向について解説しながら、複雑化するグローバルな政治現象を分析するための手法について検討する。これにより、国際政治理論研究における主要理論や分析枠組について理解を深める。	西暦偶数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC105	国際政治理論B	1	1.0	1・2					近年のグローバルな政治現象は複雑化しており、それを説明する国際政治の理論も批判的検討が重要である。本講義では、批判的国際関係理論(CIRT)と批判的安全保障研究(CSS)の近年の研究動向を中心にグローバルな統治構造とセキュリティタイゼーション現象について理論的に検討する。これにより、国際政治理論研究について総合的理解を深める。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC106	国際政治史A	1	1.0	1・2	春AB	金5	3K414	松岡 完	現代国際政治の歩みを俯瞰する。おおむね19世紀末から20世紀後半、冷戦期および冷戦終結直後までを考察の対象とする。20世紀前半については大国(列強)間関係、冷戦期についてはアメリカとソ連(ロシア)との関係を主軸としつつ、植民地主義に対する民族主義の反抗、共産主義と反共主義の衝突、大国の介入による代理戦争などさまざまな局面を検討する。また現代国際政治と日本などの視点も絡めて論じたい。	西暦偶数年度開講。
OABC107	国際政治史B	1	1.0	1・2					現代国際政治の歩みを俯瞰する。とくに20世紀から21世紀初頭にかけて発生したいくつかの重要な戦争や紛争を取り上げ、それぞれについて歴史的背景や勃発の直接原因、拡大を許した問題点、当事者や世界各国の態度、終結にいたる過程、影響や遺産、今日的な意義などに焦点を当てながら、戦争と平和という大きな問題について考察していきたい。またそうした戦争と日本との関わりについても触れていきたい。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC108	国際安全保障論A	1	1.0	1・2	春AB	月4	3K219	赤根谷 達雄	初めに国際政治学の理論体系や主要概念の基本と最新の理論的展開を習得する。基本パラダイムであるリアリズムやリベラリズム、コンストラクティビズム等、それぞれの思考様式と分析アプローチの特徴について学ぶ。そのうえで、国際政治学の主要テーマである国際安全保障に関する古典的著作や近年の理論的発展、新しい安全保障の課題等について体系的に学習する。	西暦偶数年度開講。
OABC109	国際安全保障論B	1	1.0	1・2					国際安全保障に関する理論や分析手法を踏まえたうえで、今日の世界やアジアにおける安全保障問題、日本の安全保障、新しい安全保障の課題等について体系的に学習する。特に、中国の台頭と米国の対世界・対アジア戦略、北朝鮮の核兵器開発問題、日本をとりまく安全保障環境の変化と日本の安全保障政策などについて、理論・実証の両面から学ぶ。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC110	ヨーロッパ国際関係論A	1	1.0	1・2	春AB	木2	3K426	東野 篤子	欧州連合(EU)および北大西洋条約機構(NATO)などを中心としたヨーロッパの機構と、それらをめぐるヨーロッパの国際関係などについて考察する。Aでは主に、EU・NATO域内の政治・安全保障問題に特化する予定。文献のレジュメ発表を中心とするため、詳しくは履修者と相談の上決定する。	西暦偶数年度開講。
OABC111	ヨーロッパ国際関係論B	1	1.0	1・2					欧州連合(EU)および北大西洋条約機構(NATO)などを中心としたヨーロッパの機構と、それらをめぐるヨーロッパの国際関係の理論枠組みなどについて考察する。Bでは主に、EU・NATOの対外関係の対象としての近隣地域(主に地中海や旧ソ連諸国)の諸問題を扱う予定。文献のレジュメ発表を中心とするため、詳しくは履修者と相談の上決定する。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC112	ロシア・東欧の国際関係A	1	1.0	1・2	春AB	金3	3K415	中村 逸郎	本講義では、ロシアとソ連構成諸国、さらに東欧諸国の国際関係を考察する。2014年のロシアによるウクライナ領のクリミア併合後、ロシアと周辺諸国の政治的、軍事的な緊張感は強くなっている。その要因等を含めて現状について、ロシア語と日本語の文献を読みながら分析していく。	西暦偶数年度開講。
OABC113	ロシア・東欧の国際関係B	1	1.0	1・2					本講義では、ロシアと東欧諸国の国際関係について特に経済的な国際関係の視点から考察する。ロシアはエネルギー資源を用いて周辺諸国にたいして外交攻勢をかけているが、その一方でウクライナやポーランドをはじめとして諸国がロシアにたいする反発を強めている。こうした実態について、ロシア語と日本語の文献を読みながら分析していく。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC114	東アジア政治外交A	1	1.0	1・2	春AB	木3	3K126	毛利 亜樹	21世紀初頭の東アジアは経済相互依存が進展する一方で、伝統的安全保障問題の緊張も高まっている。この国際環境における中国の台頭と関係国の反応について、英語及び中国語の文献を読みながら分析する。本講義を通して、近年の東アジアの国際関係の変化を中国の台頭と関係国の反応から説明できるようになることを目指す。 This course aims to promote in-depth understandings on the development of international relations in East Asia with special reference of the complexity between economic interdependence and traditional security issues.	西暦偶数年度開講。 01DQ355と同一。
OABC115	東アジア政治外交B	1	1.0	1・2					本講義では、東アジアにおける地域協力の発展と中国の台頭の関係について、開発モデルや地域秩序構想といった複数の問題領域を検討しながら理解を深める。本講義を通して、近年の東アジアの国際関係の変化を中国の台頭を含む諸要因から分析できるようになることを目指す。 This course aims to analyze the impact of the rise of China on the development of regional cooperation in East Asia. Several issues including competing development models and concepts on regional cooperation are covered in the class.	西暦奇数年度開講 01DQ356と同一。 2020年度開講せず。
OABC116	国際法A	1	1.0	1・2	春AB	水3	3K325	吉田 脩	法学及び国際法の基礎的知識に立脚した上、法源論等を含む、専門的な問題につき判例等を参照しつつ検討を行う。テキストは、Hans Kelsen, General Theory of Law and State (1946)などを用いる。これにより、法学と国際法の専門知識を深めるとともに、国際社会に貢献する意識、専門知識を社会に役立てる能力、専門的な問題に的確に対応する能力を養う。	西暦偶数年度開講。 履修希望者は担当教員と連絡をとること。
OABC117	国際法B	1	1.0	1・2					「国際法A」で得られた知見に基づき、国際法と国家の一般理論に係る諸問題を取り上げる。テキストとして、Hans Kelsen, General Theory of Law and State (1946)その他欧語論文等を扱う。これにより、国際法と国家の一般理論に関する専門知識と運用能力を深めるとともに、国際社会に貢献する意識、専門知識を社会に役立てる意識と能力、専門的な問題に的確に対応する能力を習得する。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。 履修希望者は担当教員と連絡をとること。
OABC118	国際文化論A	1	1.0	1・2	春AB	火5	3K325	前川 啓治	文化人類学の方法論としてのフィールドワーク、および民族誌の意義と位置付けを理解し、他学における現地調査との差異を、認識論的また存在論的に明らかにする。そのうえで文化相対主義の意義と限界を理解し、グローバリゼーションによる文化の接合の展開を、グローカリゼーションと地域開発という観点から総合的に捉える方法論と枠組みの展開を論じる。さらに、自然と文化の関係性を、レヴィ=ストロースから現在の生成=存在論的アプローチへという展開に沿って講じる。	西暦偶数年度開講。
OABC119	国際文化論B	1	1.0	1・2					文化人類学の方法論としてのフィールドワーク、および民族誌の意義と位置付けを理解し、他学における現地調査との差異を、認識論的また存在論的に明らかにする。そのうえで文化相対主義の意義と限界を理解し、グローバリゼーションによる文化の接合の展開を、グローカリゼーションと地域開発という観点から総合的に捉える方法論と枠組みの展開を論じる。さらに、自然と文化の関係性を、レヴィ=ストロースから現在の生成=存在論的アプローチへという展開に沿って講じる。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC120	開発人類学A	1	1.0	1・2	春AB	木2	3K227	関根 久雄	途上国開発に対して文化的視点からアプローチする人類学的実践の基礎的諸事項について演習形式で講義する。特に、20世紀半ば以降にイギリスで展開された実践的人类学やアメリカの応用人類学に関する批判的議論を通じて、人類学的開発研究の基本的スタンスを明らかにする。さらに、第二次世界大戦後の時代における人類学と途上国開発との距離感を、オリエンタリズム批判、ポストモダン人類学の諸議論、内発的発展論、持続可能な開発論などとの関わりから考察し、現代開発人類学の姿を参加者との議論を通して再定義する。	西暦偶数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC121	開発人類学B	1	1.0	1・2					1950年代から現在までの途上国における社会開発の潮流の変化を概説し、途上国開発の課題について考察する。特に、1950年代のコミュニティ開発、1960年代から顕著になる経済開発の主流化、1970年代にはじまるBHN(人間の基本的ニーズ)充足路線や成長の限界論、1980年代の人間開発論や持続可能な開発論、1990年代における社会開発の主流化、2000年代のMDGs(ミレニアム開発目標)と現在のSDGs(持続可能な開発目標)を主要トピックとして取りあげ、開発業界の特徴と限界、新たな開発パラダイム転換の必要性について講義する。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC122	文化変動論A	1	1.0	1・2	春AB	火1	3K325	鈴木 伸隆	近年、人の移動がより複雑かつ錯綜した形で展開されることで、新たな文化変動が生みだされている。本講義では文化人類学および隣接諸科学の最新の研究動向を視野に入れながら、人の移動を媒介とした文化変動に関する諸問題、諸事情を具体的に考察する。とくに東南アジアもしくは日本を対象とし、移住、移民コミュニティ、アイデンティティといった問題を考察する。なおAでは、より基礎的な知識や概念習得を目的としている。文化変動論演習Aと併せて受講することが望ましい。	西暦偶数年度開講。
OABC123	文化変動論B	1	1.0	1・2					近年、人の移動がより複雑かつ錯綜した形で展開されることで、新たな文化変動が生みだされている。本講義では文化人類学および隣接諸科学の最新の研究動向を視野に入れながら、人の移動を媒介とした文化変動に関する諸問題、諸事情を具体的に考察する。とくに東南アジアもしくは日本を対象とし、移住、移民コミュニティ、アイデンティティといった問題を考察する。なおBでは、Aを踏まえ、よい発展的かつ高度な分析能力習得を目的としている。文化変動論演習Bと併せて受講することが望ましい。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC600	日本政治論演習A	2	1.0	1・2	秋AB	木5	人社A519	竹中 佳彦	本演習では、現代日本の政治に関する文献を輪読して討論しながら、それを通じて日本政治や政治学理論について理解を深めることを目的とする。授業は演習形式で行い、政治学理論の基礎を習得しつつ、日本の政治、政策過程、公共政策に関する理論的・実証的研究についても文献レビューを通して理解を深める。また、学生の修士論文における研究の方向性や進捗も踏まえつつ、論文輪読を通じて、論文執筆の方法についても学び、日本政治や政治学理論に関する理解を深める。	西暦偶数年度開講。
OABC601	日本政治論演習B	2	1.0	1・2					本演習では、現代日本の政治に関する文献を輪読して討論しながら、それを通じて政治学の実証分析の方法について学ぶことを目的とする。授業は演習形式で行い、実証分析の基礎を習得しつつ、日本の政治、政策過程、公共政策に関する理論的・実証的研究についても文献レビューを通して理解を深める。また、学生の修士論文における研究の方向性や進捗も踏まえつつ、論文輪読を通じて、論文執筆の方法についても学び、日本政治の実証分析に関する理解を深める。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC602	比較政治学演習A	2	1.0	1・2	秋AB	火1	人社A519	鈴木 創	現在の比較政治学やアメリカ政治研究は、政治現象を説明する一般化可能な理論を構築し、それを経験的に検証する性格をますます強めている。この授業では、比較政治学(またはアメリカ政治研究)、特に選挙や政策決定をテーマとする文献を講読する。その際、テーマとする政治現象の内容を理解するだけでなく、それを分析するための理論や方法論の有用性と限界を検討することも目標とする。	西暦偶数年度開講。
OABC603	比較政治学演習B	2	1.0	1・2					現在の比較政治学やアメリカ政治研究は、政治現象を説明する一般化可能な理論を構築し、それを経験的に検証する性格をますます強めている。この授業では、アメリカ政治研究(または比較政治学)、特に選挙や政策決定をテーマとする文献を講読する。その際、テーマとする政治現象の内容を理解するだけでなく、それを分析するための理論や方法論の有用性と限界を検討することも目標とする。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC604	国際政治理論演習A	2	1.0	1・2	秋AB	火3	人社A519	南山 淳	国際政治理論研究の拡張・深化を企図して、特に政治哲学、歴史研究、社会思想、文化研究、科学論といった異分野との方法的接合について検討する。授業は演習形式で行い、近年の国際政治の理論研究に関する理解を深める。	西暦偶数年度開講。
OABC605	国際政治理論演習B	2	1.0	1・2					「国際政治理論演習A」の内容を踏まえて、参加者の個別研究テーマに応じた修士論文執筆のための論文指導を行う。授業は演習形式で行い、参加者の修士論文における研究の方向性や進捗も踏まえつつ、国際政治の理論研究に関する理解を深める。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC606	国際政治史演習A	2	1.0	1・2	秋AB	金5	3K414	松岡 完	20世紀とりわけ冷戦期、さらに冷戦後から21世紀の今日までの時代を対象に、現代国際政治の歩みについて考察する。とくに日本を含む各国の外交戦略の策定、具体的な外交政策の形成過程、その影響などを中心的なテーマとする。ただし受講者それぞれの問題関心に十分配慮し、20世紀以降あるいは狭義の外交に限定せず、広くさまざまな内容を扱い、個別のテーマについて研究成果を発表する形をとりたい。	西暦偶数年度開講。
OABC607	国際政治史演習B	2	1.0	1・2					20世紀とりわけ冷戦期、さらに冷戦後から今日までの時代を対象に、歴史的に重要と思われる戦争や紛争を取り上げ、それぞれについて対立の歴史的背景、戦争勃発の誘因、拡大を許した当事者や世界各国の対応、終結にいたる過程、影響や遺産、今日的な意義を検証する。ただし受講者それぞれの問題関心に配慮し、戦争以外の事象にも目を配りながら、各自が個別のテーマについて研究発表を行う形をとりたい。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC608	国際安全保障論演習A	2	1.0	1・2	秋AB	月4	3K219	赤根谷 達雄	国際安全保障問題について、理論および分析手法に力点をおいて、主要な著作や最新の論文を取り上げて輪読する。その際、今日の課題や受講者各自の問題意識に引き付けて、それらを批判的に検討し、理解を深める。また受講者各自の研究テーマに沿った研究成果の報告をしてもらい、討論と相互批判を通して、分析および理解を深めていく。また個別にも学位論文の研究・執筆指導を行う。	西暦偶数年度開講。
OABC609	国際安全保障論演習B	2	1.0	1・2					国際安全保障問題について、今日の具体的なイシューや課題に照らして、関連する国際関係の著作を輪読し、演習形式で批判的に検討し、理解を深める。また受講者各自の研究テーマに沿った研究成果の報告をもらい、討論と相互批判を通じて、分析および理解を深めていく。また個別にも学位論文の研究・執筆指導を行う。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC610	ヨーロッパ国際関係論演習A	2	1.0	1・2	秋AB	木2	3K426	東野 篤子	欧州連合(EU)などを中心としたヨーロッパの機構と、それらをめぐるヨーロッパの国際関係、その理論枠組みなどに関する重要文献を演習形式で読みながら、修士論文を準備する。	西暦偶数年度開講。
OABC611	ヨーロッパ国際関係論演習B	2	1.0	1・2					欧州連合(EU)および北大西洋条約機構(NATO)などを中心としたヨーロッパの機構と、それらをめぐるヨーロッパの国際関係、その理論枠組みなどに関する重要文献を演習形式で読みながら、修士論文を準備する。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC612	ロシア・東欧の国際関係演習A	2	1.0	1・2	秋AB	金3	3K415	中村 逸郎	本演習では、受講生の研究テーマにそって、旧ソ連構成国及び東欧諸国の国内政治と外交政策について考察する。特に、2014年のロシアによるウクライナ領のクリミア併合やそれによるロシアと周辺諸国の政治的、軍事的な緊張関係に焦点をあてる。履修者にはロシア語文献の購読を課し、演習形式で行う。	西暦偶数年度開講。
OABC613	ロシア・東欧の国際関係演習B	2	1.0	1・2					本演習では、受講生の研究テーマにそって、旧ソ連構成国及び東欧諸国の国内政治と外交政策について考察する。特に、エネルギー資源を用いたロシアの外交政策とそれに対する周辺諸国の反発に焦点をあてる。演習形式で行うので、ロシア語の履修を希望する。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC614	東アジア政治外交演習A	2	1.0	1・2	秋AB	応談		毛利 亜樹	アジア太平洋の外交・安全保障問題に関心を持ち、中国ファクターを検討する学生を対象とする。「東アジア政治外交」を併せて受講されたい。履修者には研究関心に基づく報告を求める。また、学生の東アジアの政治外交研究や国際関係に関する研究テーマの関心や方向性を踏まえつつ、演習形式で授業を行う。 This course is designed for the students who examine the impact of China factor on the development of foreign and security issues in the Asia-Pacific. Students are expected to present their research project and take 東アジア政治外交, too.	西暦偶数年度開講。 履修希望者は担当教員と連絡をとること。
OABC615	東アジア政治外交演習B	2	1.0	1・2					アジア太平洋の政治外交に関心を持つ学生を対象とする。履修者には、研究関心に基づく報告を行うことと「東アジア政治外交」の受講を求める。また、学生の東アジアの政治外交研究や国際関係に関する研究テーマの関心や方向性を踏まえつつ、演習形式で授業を行う。 This course is designed for the students who examine the development of foreign and security issues in the Asia-Pacific. Students are expected to present their research project and take 東アジア政治外交, too.	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC616	国際法演習A	2	1.0	1・2	秋AB	水3	3K325	吉田 脩	国際法における理論的な課題につき、演習及び修士論文の指導を行う。これにより、国際法の理論的課題に関する専門知識を深めるとともに、専門知識を的確に伝える能力を養い、国際法の理論に関する研究力の向上を図る。	西暦偶数年度開講。 履修希望者は担当教員と連絡をとること。
OABC617	国際法演習B	2	1.0	1・2					国際法における実務・理論上の諸問題につき、演習及び修士論文の指導を行う。これにより、国際法の実務・理論上の諸問題に関する専門知識を深めるとともに、専門知識を的確に伝える能力を習得し、国際法の理論と実務に関する研究力の向上を図る。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。 履修希望者は担当教員と連絡をとること。
OABC618	国際文化論演習A	2	1.0	1・2	秋AB	火5	3K325	前川 啓治	具体的に種々の民族誌の具体例を吟味することによって、グローバリゼーションの影響による地域社会と文化の変容の原理を明らかにする。また、映像人類学の種々のフィルムから、人類学における「イメージ」という概念の展開可能性について探ってゆく。民族誌については、演習出席者の研究地域の事例を中心に検証してゆき、文化人類学の方法論と理論という観点から、修士論文の指導を行う。	西暦偶数年度開講。
OABC619	国際文化論演習B	2	1.0	1・2					具体的に種々の民族誌の具体例を吟味することによって、グローバリゼーションの影響による地域社会と文化の変容の原理を明らかにする。また、映像人類学の種々のフィルムから、人類学における「イメージ」という概念の展開可能性について探ってゆく。民族誌については、演習出席者の研究地域の事例を中心に検証してゆき、文化人類学の方法論と理論という観点から、修士論文の指導を行う。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC620	開発人類学演習A	2	1.0	1・2	秋AB	木2	3K227	関根 久雄	文化的視点から開発現象を分析する力を養うために、アジア、アフリカ、オセアニアにおける開発援助の具体的事例を取りあげ、批判的に考察する。また、先進国から途上国へ向けた開発援助の事例だけでなく、先進国および途上国双方で行われている様々な地域開発の実践についても、検討対象とした。授業は演習形式で行い、途上国や日本国内における地域開発や開発援助に関する人類学的研究テーマを設定する学生を主対象とする。	西暦偶数年度開講。
OABC621	開発人類学演習B	2	1.0	1・2					2015年9月の国連総会で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)は2030年までの開発を地球レベルで規定する統一的目標である。これは経済的な意味における貧困削減だけでなく、教育やジェンダーなどの文脈における平等、自然資源の保全と持続的な活用など17項目169ターゲットからなり、各国政府だけでなくNGOや企業など民間組織にも共有されるものである。本授業では、各国の開発実践をSDGsの観点から捉え直し、同目標の達成のために必要な開発実践のあり方について議論する。授業は演習形式で行い、開発実践やSDGsに関する人類学的研究テーマを設定する学生を主対象とする。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC622	文化変動論演習A	2	1.0	1・2	秋AB	火1	3K325	鈴木 伸隆	今日、小さなコミュニティの文化変動ですら、地球規模で展開する政治経済システムとの連関を抜きにしては語れなくなっている。本演習では、ローカルな文化変動とグローバルな政治経済システムに関連する諸問題を多角的かつ批判的に考察することで、修士論文作成に求められる基礎的な知識を習得する。とくに演習Aでは研究発表を通して、論文執筆に向けた先行研究の整理と研究の枠組みについて学ぶ。文化変動論Aと併せて受講することが望ましい。	西暦偶数年度開講。
OABC623	文化変動論演習B	2	1.0	1・2					今日、小さなコミュニティの文化変動ですら、地球規模で展開する政治経済システムとの連関を抜きにしては語れなくなっている。本演習では、ローカルな文化変動とグローバルな政治経済システムに関連する諸問題を多角的かつ批判的に考察することで、修士論文作成に求められる高度な分析能力を習得する。とくに演習Bでは研究発表を通して、実証的な論文執筆について学ぶ。文化変動論Bと併せて受講することが望ましい。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC624	政策評価分析演習A	2	1.0	1・2	秋AB	月4	3K427	松島 みどり	In this class, students will learn impact evaluation methods using data. This class will begin with learning how to set evaluation questions and move on to quantitative analysis. Regarding evaluation methodologies, students will learn: causal inference and counterfactuals, randomized selection methods, regression discontinuity design, difference-in-differences, and matching. Students will be given homework and assignments to advance their understanding and research skills.	西暦偶数年度開講。 01DF652と同一。 英語で授業。
OABC625	政策評価分析演習B	2	1.0	1・2					Based on what students have learned in "Policy Evaluation Seminar A", students will apply their skills to practice. In the real world, researchers often use combined methodologies and consider various treatment levels. Thus, by using real world examples (secondary data), students will conduct impact evaluation and learn methodologies suitable to answer their own research questions. Also, using the knowledge gained from "Policy Evaluation IB", students will critically analyse the limitations of their own research. Students will be given homework and assignments to advance their understanding and research skills.	西暦奇数年度開講 01DF653と同一。 英語で授業。 2020年度開講せず。

専門科目(社会学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC200	社会意識論A	1	1.0	1・2	春AB	金2	3K220	葛山 泰央	この講義では、ユートピアやコミュニオンなど西欧近代社会における社会学の歴史を背景とした社会意識論のいくつかの問題領域と、イデオロギー論や知識社会学などそれらに関連する古典的な理論枠組みを概説することを目標とする。とりわけ一八世紀後半から一九世紀前半にかけての、啓蒙以後の/社会学以前の社会学的思考の展開を再検討するなかで、制度の生成と変容の学問としての社会学が、それ自体としていかに生成し変容することになるのかを概観する。Aでは一八世紀後半の社会思想を主題化する。	西暦偶数年度開講。
OABC201	社会意識論B	1	1.0	1・2					この講義では、ユートピアやコミュニオンなど西欧近代社会における社会学の歴史を背景とした社会意識論のいくつかの問題領域と、イデオロギー論や知識社会学などそれらに関連する古典的な理論枠組みを概説することを目標とする。とりわけ一八世紀後半から一九世紀前半にかけての、啓蒙以後の/社会学以前の社会学的思考の展開を再検討するなかで、制度の生成と変容の学問としての社会学が、それ自体としていかに生成し変容することになるのかを概観する。Bでは一九世紀前半の社会思想を主題化する。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC202	医療社会学A	1	1.0	1・2	春AB	木4	人社A202	奥山 敏雄	この講義では、病院化社会やスピリチュアルケアなど西欧近代社会における社会学の歴史を背景とした医療社会学のいくつかの問題領域と、現象学的社会学や臨床社会学、コミュニケーション論などそれらに関連する古典的な理論枠組みを概説することを目標とする。とりわけ近代社会における死の医学化/医療化の展開と現代社会における病や死を巡るホスピスや緩和ケアの展開を再検討するなかで、それらの理論枠組みの射程と限界について概観する。Aでは近代社会における死の医学化/医療化の展開を主題化する。	西暦偶数年度開講。
OABC203	医療社会学B	1	1.0	1・2					この講義では、病院化社会やスピリチュアルケアなど西欧近代社会における社会学の歴史を背景とした医療社会学のいくつかの問題領域と、現象学的社会学や臨床社会学、コミュニケーション論などそれらに関連する古典的な理論枠組みを概説することを目標とする。とりわけ近代社会における死の医学化/医療化の展開と現代社会における病や死を巡るホスピスや緩和ケアの展開を再検討するなかで、それらの理論枠組みの射程と限界について概観する。Bでは現代社会における病や死を巡るホスピスや緩和ケアの展開を主題化する。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC204	社会病理学	1	1.0	1・2	春AB	火2	人社A206	土井 隆義	この講義では、犯罪/非行、いじめやひきこもりなど現代社会における社会学の展開とも同時代的に結び付いている逸脱行動論ならびに社会統制論のいくつかの問題領域と、アノミー論やレイベリング論、自己論やコミュニケーション論、リスク社会学や社会的排除論などそれらに関連する現代的な理論枠組みを概説することを目標とする。とりわけ現代社会における青少年の逸脱行動の背景にある親密性の変容と、その重要な要因となる人間関係に対する青少年の社会的メンタリティの変化を再検討するなかで、人間関係論的な観点からの逸脱行動論や社会統制論の理論枠組みを再構築する。社会病理学では現代社会における親密性の変容を主題化する。	西暦偶数年度開講。
OABC205	社会問題論	1	1.0	1・2					この講義では、犯罪/非行、いじめやひきこもりなど現代社会における社会学の展開とも同時代的に結び付いている逸脱行動論ならびに社会統制論のいくつかの問題領域と、アノミー論やレイベリング論、自己論やコミュニケーション論、リスク社会学や社会的排除論などそれらに関連する現代的な理論枠組みを概説することを目標とする。とりわけ現代社会における青少年の逸脱行動の背景にある親密性の変容と、その非常に重要な要因となる人間関係に対する青少年の社会的メンタリティの変化を再検討するなかで、人間関係論的な観点からの逸脱行動論や社会統制論の理論枠組みを再構築する。社会問題論では人間関係に対する青少年の社会的メンタリティの変化を主題化する。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC206	歴史社会学	1	1.0	1・2	春AB	水2	人社A205	野上 元	この講義では、戦争の記憶や社会学的な歴史叙述の方法など西欧近代社会における社会学の歴史を背景とした歴史社会学のいくつかの問題領域と、社会意識論や言説分析、集合的記憶論やメディア論などそれらに関連する文化社会学の古典的な枠組みを概説することを目標とする。とりわけ近代社会における戦争とその記憶、現代社会におけるメディアの機能や歴史叙述の役割などの諸問題を社会学的に再検討するなかで、それらの理論枠組みの可能性と限界について概観する。歴史社会学では近代社会における戦争とその記憶を主題化する。	西暦偶数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC207	文化社会学	1	1.0	1・2					この講義では、戦争の記憶や社会学的な歴史叙述の方法など西欧近代社会における社会学の歴史を背景とした歴史社会学のいくつかの問題領域と、社会意識論や言説分析、集会的記憶論やメディア論などそれらに関連する文化社会学の古典的な枠組みを概説することを目標とする。とりわけ近代社会における戦争とその記憶、現代社会におけるメディアの機能や歴史叙述の役割などの諸問題を社会学的に再検討するなかで、それらの理論枠組みの可能性と限界について概観する。文化社会学では現代社会におけるメディアの機能や歴史叙述の役割を主題化する。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC208	都市社会学	1	1.0	1・2	春AB	月2	人社 A205	五十嵐 泰正	この講義では、グローバル化する現代都市や地域コミュニティの抱え込む諸々の課題など現代社会における社会学の展開とも同時代的に結び付いている都市社会学や地域社会学のいくつかの問題領域と、グローバル都市論やコミュニティ論、リスクコミュニケーション論や社会的差別論などそれらに関連する現代的な理論枠組みを概説することを目標とする。とりわけ現代社会における都市のグローバル化と地域コミュニティの変容と、それらの非常に重要な要因となる、人やモノや情報の移動と定着の現代的な意味を再検討するなかで、それらの理論枠組みの有効性と限界について概観する。都市社会学では現代社会における都市のグローバル化を主題化する。	西暦偶数年度開講。
OABC209	地域社会学	1	1.0	1・2					この講義では、グローバル化する現代都市や地域コミュニティの抱え込む諸々の課題など現代社会における社会学の展開とも同時代的に結び付いている都市社会学や地域社会学のいくつかの問題領域と、グローバル都市論やコミュニティ論、リスクコミュニケーション論や社会的差別論などそれらに関連する現代的な理論枠組みを概説することを目標とする。とりわけ現代社会における都市のグローバル化と地域コミュニティの変容と、それらの非常に重要な要因となる、人やモノや情報の移動と定着の現代的な意味を再検討するなかで、それらの理論枠組みの有効性と限界について概観する。地域社会学では現代社会における地域コミュニティの抱え込む諸々の課題を主題化する。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC210	社会階層論A	1	1.0	1・2	春A	応談		森 直人	この講義では、社会移動と社会階層、教育や福祉をめぐる格差や不平等など近現代社会における社会学の歴史的展開とも同時代的に結び付いてきた社会階層論のいくつかの問題領域と、階級・階層論や社会移動研究、文化的再生産論や教育福祉論などそれらに関連する現代的な理論枠組みを概説することを目標とする。とりわけ近代社会における社会移動と社会階層、現代社会における教育と福祉をめぐる格差や不平等などを再検討するなかで、それらの理論枠組みの有効性と限界について概観する。Aでは近代社会における社会移動と社会階層を主題化する。	西暦偶数年度開講。
OABC211	社会階層論B	1	1.0	1・2					この講義では、社会移動と社会階層、教育や福祉をめぐる格差や不平等など近現代社会における社会学の歴史的展開とも同時代的に結び付いてきた社会階層論のいくつかの問題領域と、階級・階層論や社会移動研究、文化的再生産論や教育福祉論などそれらに関連する現代的な理論枠組みを概説することを目標とする。とりわけ近代社会における社会移動と社会階層、現代社会における教育と福祉をめぐる格差や不平等などを再検討するなかで、それらの理論枠組みの有効性と限界について概観する。Bでは現代社会における教育や福祉をめぐる格差や不平等を主題化する。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC212	国際社会政策論A	1	1.0	1・2	春AB	月5	3K220	ウラノ エジソン ヨシアキ	この講義では、国際人口移動の加速化や通信網の発達、国際労働市場の再編とそれに伴う社会政策そのものの変容など現代社会における社会学の展開とも同時代的に結び付いている国際社会学や労働社会学のいくつかの問題領域と、グローバル化をめぐる研究や人的資本論、移民社会論やエスニシティ論などそれらに関連する現代的な理論枠組みを概説することを目標とする。とりわけ現代社会における国際移動の加速化と国際労働市場の再編と、それらに対応する社会政策の変容を再検討するなかで、それらの理論枠組みの有効性と限界について概観する。Aでは現代社会における国際移動の加速化と国際労働市場の再編を主題化する。	西暦偶数年度開講。 01DP774と同一。
OABC213	国際社会政策論B	1	1.0	1・2					この講義では、国際人口移動の加速化や通信網の発達、国際労働市場の再編とそれに伴う社会政策そのものの変容など現代社会における社会学の展開とも同時代的に結び付いている国際社会学や労働社会学のいくつかの問題領域と、グローバル化をめぐる研究や人的資本論、移民社会論やエスニシティ論などそれらに関連する現代的な理論枠組みを概説することを目標とする。とりわけ現代社会における国際移動の加速化と国際労働市場の再編と、それらに対応する社会政策の変容を再検討するなかで、それらの理論枠組みの有効性と限界について概観する。Bでは国際的な移動の加速化と労働市場の再編に伴う社会政策そのものの変容を主題化する。	西暦奇数年度開講 01DP775と同一。 2020年度開講せず。
OABC214	教育社会学	1	1.0	1・2					この講義では、少子化やグローバル化やインターネット社会化とそれに伴う教育政策そのものの変容など現代社会における社会学の展開とも同時代的に結び付いている教育社会学のいくつかの問題領域と、メリトクラシー論や脱・学校化社会論、文化的再生産論や学校文化論などそれらに関連する現代的な理論枠組みを概説することを目標とする。とりわけ現代社会における教育をめぐる格差と学校の多様化、揺らぐメリトクラシーと学びの方向転換を再検討するなかで、それらの理論枠組みの有効性と限界について概観する。教育社会学では現代社会における教育をめぐる格差と学校の多様化を主題化する。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC215	ジェンダー社会論	1	1.0	1・2	春AB	金4	1C401	黄 順姫	世界経済フォーラム(WEF)が経済、教育、政治、保健の尺度で分析した、男女格差を表す「ジェンダー・ギャップ指数(GGI)2017年」で、日本は144カ国中114位であった。ジェンダー社会論の講義では、日本社会・文化構造における男女格差・不平等の正当化と再生産を社会的に考察する。少子化・高齢化・グローバル化で、ジェンダー格差・不平等によって、1男性・女性の生きづらさの生成と差異の構造、2メディア(男性・女性向けの雑誌で正当化する身体文化)による正当化の問題、3家族内の社会化を通して形成されるジェンダー不平等、4学校教育での格差再生産・受容の問題、4組織社会のなかでの集団としての男性支配体制の維持を目的とした女性への排除によるリスク、コスト及び男性自身の生きづらさの問題等を分析し、今後日本社会のためにジェンダー平等、労働力率向上、男性・女性の共生と生きがい、ジェンダー政策への提言を考える。	西暦偶数年度開講。
OABC216	社会調査方法論A	1	1.0	1・2	秋ABC	集中		樽川 典子	この講義では、おもに社会学における従来の社会調査の歴史と意義を踏まえた上で、社会調査に関連するいくつかの問題領域と、各種の統計的調査の方法(データの収集と整理)や統計的分析法(データの分析)、さらには各種の質的調査の方法などそれらに関連する理論的・方法的な枠組みを概説するなかで、将来的な社会調査の実施に向けての、社会調査の設計に必要な知識と分析技能を修得することを目標とする。Aでは各種の統計的調査の方法や統計的分析法について学ぶ。	非常勤講師 西暦偶数年度開講。 01DF395と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC217	社会調査方法論B		1	1.0	1・2				この講義では、おもに社会学における従来の社会調査の歴史と意義を踏まえた上で、社会調査に関連するいくつかの問題領域と、各種の統計的調査の方法(データの収集と整理)や統計的分析法(データの分析)、さらには各種の質的調査の方法などそれらに関連する理論的・方法的な枠組みを概説するなかで、将来的な社会調査の実施に向けての、社会調査の設計に必要な知識と分析技能を修得することを目標とする。Bでは各種の質的調査の方法について学ぶ。	非常勤講師。西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC700	社会意識論演習A		2	1.0	1・2	秋AB	金2	3K220 葛山 泰央	この演習では、ユートピアやコミュニオンなど西欧近代社会における社会学の歴史を背景とした社会意識論のいくつかの問題領域に、イデオロギー論や知識社会学などそれらに関連する古典的な理論枠組みを応用することを目標とする。とりわけ一八世紀後半から一九世紀前半にかけての、啓蒙以後の/社会学以前の社会学的思考の展開を再検討するなかで、制度の生成と変容の学問としての社会学が、それ自体としていかに生成し変容することになるのかを検証する。Aでは一八世紀後半の社会思想を主題化する。	西暦偶数年度開講。
OABC701	社会意識論演習B		2	1.0	1・2				この演習では、ユートピアやコミュニオンなど西欧近代社会における社会学の歴史を背景とした知識社会学のいくつかの問題領域に、イデオロギー論や社会意識論などそれらに関連する古典的な理論枠組みを応用することを目標とする。とりわけ一八世紀後半から一九世紀前半にかけての、啓蒙以後の/社会学以前の社会学的思考の展開を再検討するなかで、制度の生成と変容の学問としての社会学が、それ自体としていかに生成し変容することになるのかを検証する。Bでは一九世紀前半の社会思想を主題化する。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC702	医療社会学演習A		2	1.0	1・2	秋AB	木4	人社A202 奥山 敏雄	この演習では、病院化社会やスピリチュアルケアなど西欧近代社会における社会学の歴史を背景とした医療社会学のいくつかの問題領域に、現象学的社会学や臨床社会学、コミュニケーション論などそれらに関連する古典的な理論枠組みを応用することを目標とする。とりわけ近代社会における死の医学化/医療化の展開と現代社会における病や死を巡るホスピスや緩和ケアの展開を再検討するなかで、それらの理論枠組みの射程と限界について検証する。Aでは近代社会における死の医学化/医療化の展開を主題化する。	西暦偶数年度開講。
OABC703	医療社会学演習B		2	1.0	1・2				この演習では、病院化社会やスピリチュアルケアなど西欧近代社会における社会学の歴史を背景とした医療社会学のいくつかの問題領域に、現象学的社会学や臨床社会学、コミュニケーション論などそれらに関連する古典的な理論枠組みを応用することを目標とする。とりわけ近代社会における死の医学化/医療化の展開と現代社会における病や死を巡るホスピスや緩和ケアの展開を再検討するなかで、それらの理論枠組みの射程と限界について検証する。Bでは現代社会における病や死を巡るホスピスや緩和ケアの展開を主題化する。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC704	社会病理学演習		2	1.0	1・2	秋AB	火2	人社A206 土井 隆義	この演習では、犯罪/非行、いじめやひきこもりなど現代社会における社会学の展開とも同時代的に結び付いている逸脱行動論ならびに社会統制論のいくつかの問題領域に、アノミー論やレイベリング論、自己論やコミュニケーション論、リスク社会学や社会的排除論などそれらに関連する現代的な理論枠組みを応用することを目標とする。とりわけ現代社会における青少年の逸脱行動の背景にある親密性の変容と、その非常に重要な要因となる人間関係に対する青少年の社会的メンタリティの変化を再検討するなかで、人間関係論的な観点からの逸脱行動論や社会統制論の理論枠組みを再検証する。社会病理学演習では現代社会における親密性の変容を主題化する。	西暦偶数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC705	社会問題論演習	2	1.0	1・2					この演習では、犯罪/非行、いじめやひきこもりなど現代社会における社会学の展開とも同時代的に結び付いている逸脱行動論ならびに社会統制論のいくつかの問題領域に、アノミー論やレイベリング論、自己論やコミュニケーション論、リスク社会論や社会的排除論などそれらに関連する現代的な理論枠組みを応用することを目標とする。とりわけ現代社会における青少年の逸脱行動の背景にある親密性の変容と、その非常に重要な要因となる人間関係に対する青少年の社会的メンタリティの変化を再検討するなかで、人間関係論的な観点からの逸脱行動論や社会統制論の理論枠組みを再検証する。社会問題論演習では人間関係に対する青少年の社会的メンタリティの変化を主題化する。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC706	歴史社会学演習	2	1.0	1・2	秋AB	水2	人社A205	野上 元	この演習では、戦争の記憶や社会的な歴史叙述の方法など西欧近代社会における社会学の歴史を背景とした歴史社会学のいくつかの問題領域に、社会意識論や言説分析、集合的記憶論やメディア論などそれらに関連する文化社会学の古典的な枠組みを応用することを目標とする。とりわけ近代社会における戦争とその記憶、現代社会におけるメディアの機能や歴史叙述の役割などの諸問題を社会学的に再検討するなかで、それらの理論枠組みの可能性と限界を検証する。歴史社会学演習では近代社会における戦争とその記憶を主題化する。	西暦偶数年度開講。
OABC707	文化社会学演習	2	1.0	1・2					この演習では、戦争の記憶や社会的な歴史叙述の方法など西欧近代社会における社会学の歴史を背景とした歴史社会学のいくつかの問題領域に、社会意識論や言説分析、集合的記憶論やメディア論などそれらに関連する文化社会学の古典的な枠組みを応用することを目標とする。とりわけ近代社会における戦争とその記憶、現代社会におけるメディアの機能や歴史叙述の役割などの諸問題を社会学的に再検討するなかで、それらの理論枠組みの可能性と限界を検証する。文化社会学演習では現代社会におけるメディアの機能や歴史叙述の役割を主題化する。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC708	都市社会学演習	2	1.0	1・2	秋AB	月2	人社A205	五十嵐 泰正	この演習では、グローバル化する現代都市や地域コミュニティの抱え込む諸々の課題など現代社会における社会学の展開とも同時代的に結び付いている都市社会学や地域社会学のいくつかの問題領域に、グローバル都市論やコミュニティ論、リスクコミュニケーション論や社会的差別論などそれらに関連する現代的な理論枠組みを応用することを目標とする。とりわけ現代社会における都市のグローバル化と地域コミュニティの変容と、それらの非常に重要な要因となる、人やモノや情報の移動と定着の現代的な意味を再検討するなかで、それらの理論枠組みの有効性と限界を検証する。都市社会学演習では現代社会における都市のグローバル化を主題化する。	西暦偶数年度開講。
OABC709	地域社会学演習	2	1.0	1・2					この演習では、グローバル化する現代都市や地域コミュニティの抱え込む諸々の課題など現代社会における社会学の展開とも同時代的に結び付いている都市社会学や地域社会学のいくつかの問題領域に、グローバル都市論やコミュニティ論、リスクコミュニケーション論や社会的差別論などそれらに関連する現代的な理論枠組みを応用することを目標とする。とりわけ現代社会における都市のグローバル化と地域コミュニティの変容と、それらの非常に重要な要因となる、人やモノや情報の移動と定着の現代的な意味を再検討するなかで、それらの理論枠組みの有効性と限界を検証する。地域社会学演習では現代社会における地域コミュニティの抱え込む諸々の課題を主題化する。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC710	社会階層論演習A	2	1.0	1・2	春A	応談		森 直人	この演習では、社会移動と社会階層、教育や福祉をめぐる格差や不平等など近現代社会における社会学の歴史的展開とも同時代的に結び付いてきた社会階層論のいくつかの問題領域に、階級・階層論や社会移動研究、文化的再生産論や教育福祉論などそれらに関連する現代的な理論枠組みを応用することを目標とする。とりわけ近代社会における社会移動と社会階層、現代社会における教育や福祉をめぐる格差や不平等などを再検討するなかで、それらの理論枠組みの有効性と限界を検証する。Aでは近代社会における社会移動と社会階層を主題化する。	西暦偶数年度開講。
OABC711	社会階層論演習B	2	1.0	1・2					この演習では、社会移動と社会階層、教育や福祉をめぐる格差や不平等など近現代社会における社会学の歴史的展開とも同時代的に結び付いてきた社会階層論のいくつかの問題領域に、階級・階層論や社会移動研究、文化的再生産論や教育福祉論などそれらに関連する現代的な理論枠組みを応用することを目標とする。とりわけ近代社会における社会移動と社会階層、現代社会における教育や福祉をめぐる格差や不平等などを再検討するなかで、それらの理論枠組みの有効性と限界を検証する。Bでは現代社会における教育や福祉をめぐる格差や不平等を主題化する。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC712	国際社会政策論演習A	2	1.0	1・2	秋AB	月5	3K220	ウラノ エジソン ヨシアキ	この演習では、国際人口移動の加速化や通信網の発達、国際労働市場の再編とそれに伴う社会政策そのものの変容など現代社会における社会学の展開とも同時代的に結び付いている国際社会学や労働社会学のいくつかの問題領域に、グローバル化をめぐる研究や人的資本論、移民社会論やエスニシティ論などそれらに関連する現代的な理論枠組みを応用することを目標とする。とりわけ現代社会における国際移動の加速化と国際労働市場の再編と、それらに対応する社会政策の変容を再検討するなかで、それらの理論枠組みの有効性と限界を検証する。国際社会学演習では現代社会における国際移動の加速化と国際労働市場の再編を主題化する。	西暦偶数年度開講。
OABC713	国際社会政策論演習B	2	1.0	1・2					この演習では、国際人口移動の加速化や通信網の発達、国際労働市場の再編とそれに伴う社会政策そのものの変容など現代社会における社会学の展開とも同時代的に結び付いている国際社会学や労働社会学のいくつかの問題領域に、グローバル化をめぐる研究や人的資本論、移民社会論やエスニシティ論などそれらに関連する現代的な理論枠組みを応用することを目標とする。とりわけ現代社会における国際移動の加速化と国際労働市場の再編と、それらに対応する社会政策の変容を再検討するなかで、それらの理論枠組みの有効性と限界を検証する。労働社会学では国際的な移動の加速化と労働市場の再編に伴う社会政策そのものの変容を主題化する。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。
OABC714	教育社会学演習	2	1.0	1・2					この演習では、少子化やグローバル化やインターネット社会化とそれに伴う教育政策そのものの変容など現代社会における社会学の展開とも同時代的に結び付いている教育社会学のいくつかの問題領域に、メリトクラシー論や脱・学校化社会論、文化的再生産論や学校文化論などそれらに関連する現代的な理論枠組みを応用することを目標とする。とりわけ現代社会における教育をめぐる格差と学校の多様化、揺らぐメリトクラシーと学びの方向転換を再検討するなかで、それらの理論枠組みの有効性と限界を検証する。教育社会学演習では現代社会における教育をめぐる格差と学校の多様化を主題化する。	西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC715	ジェンダー社会論演習	2	1.0	1・2	秋AB	金4	1C401	黄 順姫	この演習では、少子化やグローバル化やインターネット社会化とそれらに伴う教育政策そのものの変容など現代社会における社会学の展開とも同時代的に結び付いている教育社会学のいくつかの問題領域に、メリトクラシー論や脱・学校化社会論、文化的再生産論や学校文化論などそれらに関連する現代的な理論枠組みを応用することを目標とする。とりわけ現代社会における教育をめぐる格差と学校の多様化、揺らぐメリトクラシーと学びの方向転換を再検討するなかで、それらの理論枠組みの有効性と限界を検証する。ジェンダー社会論演習ではジェンダー・トラックとの関連で揺らぐメリトクラシーと学びの方向転換を主題化する。	西暦偶数年度開講。
OABC716	社会調査方法論演習A	2	1.0	1・2	秋ABC	集中		樽川 典子	この演習では、おもに社会学における従来の社会調査の歴史と意義を踏まえた上で、社会調査に関連するいくつかの問題領域と、各種の統計的調査の方法(データの収集と整理)や統計的分析法(データの分析)、さらには各種の質的調査の方法などそれらに関連する理論的・方法的な枠組みを概説するなかで、将来的な社会調査の実施に向けた、社会調査の設計を行うことを目標とする。Aでは各自の問題関心・問題意識に基づき、各種の統計的調査の方法や統計的分析法を踏まえた社会調査の設計を行う。	非常勤講師 西暦偶数年度開講。 01DF397と同一。
OABC717	社会調査方法論演習B	2	1.0	1・2					この演習では、おもに社会学における従来の社会調査の歴史と意義を踏まえた上で、社会調査に関連するいくつかの問題領域と、各種の統計的調査の方法(データの収集と整理)や統計的分析法(データの分析)、さらには各種の質的調査の方法などそれらに関連する理論的・方法的な枠組みを概説するなかで、将来的な社会調査の実施に向けた、社会調査の設計を行うことを目標とする。Bでは各自の問題関心・問題意識に基づき、各種の質的調査の方法を踏まえた社会調査の設計を行う。	非常勤講師。西暦奇数年度開講 2020年度開講せず。

専門科目(地域研究分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC300	地域調査法I	1	1.0	1・2	春AB	応談		ウラノ エジソン ヨシアキ	The objective of this course is to introduce students to qualitative research methods and research design. The purpose is to provide students with theoretical and practical skills while planning and carrying out their own research, through lectures and group discussions.	詳細は担当教員に問い合わせてください /Please contact the instructor for details. 英語で授業。
OABC301	地域調査法II	1	1.0	1・2	秋AB	金4	8A409	ウラノ エジソン ヨシアキ	The objective of this course is to introduce students to qualitative research methods and research design. The purpose is to provide students with theoretical and practical skills while planning and carrying out their own research, through lectures and group discussions.	英語で授業。
OABC302	東南アジア・オセアニア研究概論	1	1.0	1・2	春AB	火4	8A409	モハメド マレク アブドウル, 茅根 由佳, 堤 純, 外山 文字	本概論では、東南アジア・オセアニア地域に関する政治・経済・社会の基本問題をオムニバス形式により講義する。講義にあたっては最近の研究動向も紹介しつつ、人文地理学、比較政治学、開発経済学の諸分野から、東南アジア・オセアニア地域を分析するための基本的アプローチや主要課題、分析枠組・分析方法について理解を深める。	総A217A 01DQ504と同一。
OABC303	東南アジア・オセアニア人文地理学研究A	1	1.0	1・2	秋AB	火4		堤 純	本講義では、オーストラリアの自然、歴史、文化的背景を認識し、地誌学的な視点からオーストラリアの特徴を理解する。具体的には、1970年代以降、急速にアジアとの接近を進めるオーストラリア社会をとりあげ、多文化社会に特有の諸問題を考察する。これにより、オーストラリアの地誌学的特性を説明でき、それを事例に多文化社会の諸課題を説明できることを目指す。	総A217A 01DQ525と同一。
OABC304	東南アジア・オセアニア人文地理学研究B	1	1.0	1・2					本講義では、1970年代初頭に相次いで起きたオーストラリアの脱イギリス化、アジア太平洋国家への変貌をテーマとし、このような劇的な変化を引き起こしたメカニズムを世界地誌的な立場から解説し、オセアニアの人文地理研究に関する理解を深める。これにより、世界地誌的観点からオーストラリアの劇的な変化のメカニズムを説明できることを目指す。	総A217A 01DQ528と同一。 2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC305	東南アジア・オセアニア政治研究A	1	1.0	1・2	春AB	火6		茅根 由佳	本講義では、多様性に富んだ現代東南アジア政治のあり方について学ぶ。具体的には、比較政治学の観点から、東南アジア各国の政治史を中心に、国家形成と国民統合をめぐる諸問題について検討しつつ、東南アジアの政治について深く理解する。本講義を通じて、比較政治学の分析枠組や分析手法を用いて、東南アジアの国家形成と国民統合の諸課題を概説できることを目指す。	総A217A 西暦偶数年度開講。 01DF604, 01DQ559と同一。
OABC306	東南アジア・オセアニア政治研究B	1	1.0	1・2					本講義では、東南アジア各国が抱える宗教とナショナリズムの問題について検討する。具体的には、比較政治学の観点から、フィリピン、タイ、インドネシア、マレーシアを事例として、各国の政治史から宗教と国民統合をめぐる問題について議論しつつ、東南アジアの政治について深く理解する。本講義を通じて、比較政治学の分析枠組や分析手法を用いて、東南アジアの宗教と国民統合の諸課題を概説できることを目指す。	総A217A 01DF605, 01DQ557と同一。 2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講。
OABC307	東南アジア・オセアニア経済研究A	1	1.0	1・2	秋AB	火1	8A404-2	モハメド マレク アブドゥル	This course is mainly for graduate students in international public policies/area studies who like to specialise in southeast asian economics/studies. The course gives non-technical economic perspective of different topics particularly relevant to the contemporary development of southeast asian economies. Students need to participate actively in the class, participate in the discussion, submit a term paper and appear at a short exam at the end of the course.	01DQ566と同一。 英語で授業。
OABC308	東南アジア・オセアニア経済研究B	1	1.0	1・2					This course is mainly for graduate students in International area studies who like to specialise in southeast asian economics/studies. The course gives non-technical economic perspective of different topics particularly relevant to the long-transition of southeast asian economies—the topics include dynamics of agricultural transformation and natural resource base, East Asian Miracle, Asian Crisis 1997, Global financial crisis and its consequences, Political economy of policy reform, Economic Integration, Industrialization and Foreign direct Investments, International Trade, Economic geography, etc.	01DQ564と同一。 英語で授業。 2020年度開講せず。
OABC309	中央ユーラシア文化社会研究A	1	1.0	1・2	春AB	月6	8A107	塩谷 哲史	This lecture covers modern history of Central Asian oases area, with special focus on the correlations between the political and social upheavals and the environmental changes in the 19th and the 20th centuries.	英語で授業。
OABC310	中央ユーラシア文化社会研究B	1	1.0	1・2					This course examines the establishment and development of the Soviet nationalities policy, and the nation-building process in Central Eurasia in 1920s and 1930s. The instructor will help students to develop an understanding of the new research trends of Modern Central Eurasian history, cultural anthropology and environmental studies.	英語で授業。 2020年度開講せず。
OABC311	中東・北アフリカ研究概論	1	1.0	1・2	秋AB	金4	3K426	柏木 健一	本講義では、開発経済学の分析枠組を用いて、現代中東・北アフリカ諸国における持続的経済発展と政治的安定のための主要課題や経済政策における主要課題等を概説する。特に、欧州による植民地支配からの独立後に焦点をあて、人口増加と人口転換、国内・国際労働移動、工業化と経済成長、教育と労働市場、水資源問題、農業発展等について説明し、開発経済学の分析枠組の基礎を理解するとともに、中東・北アフリカ経済のグローバル化における諸課題を考察する。	01DQ407と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC312	中東・北アフリカ思想 宗教研究	1	1.0	1・2	春AB	火5		秋山 学	近現代に至るまで、歴史的あるいは政治的に大きな痕跡を遺すことになったユダヤ教徒たちの「ディアスポラ」問題について、その根幹となるユダヤ教思想を掘り下げるとともに、ディアスポラの変遷を辿る。具体的には、(1)ヘブライ語原典に遡っての旧約聖書思想の考究。(2)バビロン捕囚の実態の史的解明および捕囚解放期以降におけるディアスポラの史的考察。(3)ディアスポラのうち最大の中心地となったアレクサンドリアにおけるユダヤ教・キリスト教文化の諸相の解明を課題とし、現代世界に対して「ディアスポラ」が投げかける問題についても考究する。	人社A508
OABC313	ヨーロッパ人文地理学 研究	1	1.0	1・2	秋AB	火3	8A404-2	呉羽 正昭	本講義では、ヨーロッパにおける人口、文化、ツーリズム空間などを素材にしなが、ヨーロッパの地域性と風土について解説しつつ、ヨーロッパの人文地理学についての理解を深める。ヨーロッパを人文地理的諸要素を題材にしつつ、人文地理学のアプローチと分析手法を学ぶことにより、ヨーロッパの地域特性がどのように理解し、説明できるのかを深く考察する。	
OABC314	ヨーロッパ思想宗教研究	1	1.0	1・2	秋AB	水2		秋山 学	ヨーロッパにあって、古代末期から中世初期にかけて次第に重要性を増し、中世盛期から近世にかけては政治外交面においても大きな影響力を持つことになった「永遠の都」ローマ(ないしヴァティカン)の宗教的意義と役割について考究する。具体的には、(1)ラテン語(ないしギリシア語)で記された教父文献に基づく神学的考察、(3)教会法文献に見るローマ教皇の首位性の確立と変遷をめぐる歴史的考察、(3)各時代の公会議文書に見る教会共同の諸相、(4)現代におけるヴァティカンの活動をめぐる考察を中心に、現代政治と宗教の関わりにも論ずる。	人社A508
OABC315	ヨーロッパ研究特講A	1	1.0	1・2	秋AB	応談	8A101	白山 利信	ヨーロッパ地域研究に関して、ロシア語圏の国々の言語をめぐる諸問題について概説し、ロシア語圏の地域研究の基礎を学ぶ。また、受講生の研究テーマや方向性を踏まえ、ロシア語圏における言語問題や言語政策、言語教育に関する文献を講読する。これにより、ヨーロッパ地域研究のアプローチと分析手法を学ぶとともに、ロシア語圏における言語諸問題に関する理解を深める。	西暦偶数年度開講。
OABC316	ヨーロッパ研究特講B	1	1.0	1・2					ヨーロッパ地域研究に関して、ロシア語圏の国々の文化をめぐる諸問題について概説し、ロシア語圏の地域研究について理解を深める。また、受講生の研究テーマや方向性を踏まえ、ロシア語圏における文化問題や文化政策、文化教育に関する文献を講読する。これにより、ヨーロッパ地域研究のアプローチと分析手法を学ぶとともに、ロシア語圏における文化諸問題に関する理解を深める。	2020年度開講せず。
OABC317	ヨーロッパ研究特講C	1	1.0	1・2	春AB	応談		宮崎 和夫	帝国時代のスペイン王権の統治構造を、複合王政論の観点に立って分析する。特に、カタルーニャなどのイベリア半島東部諸国、南イタリア諸国、アメリカ植民地に対する支配のあり方を比較検討することにより、スペイン帝国による被支配地における統治構造を分析する。分析対象とする時代としては、15世紀初頭から16世紀前半までを扱う。	
OABC318	ラテン・アメリカ研究 概論	1	1.0	1・2	春AB	火2	8A102	箕輪 真理	本講義では、現代のラテンアメリカ諸国における経済開発の主要問題について概説する。同諸国の経済発展過程における歴史的負の遺産や、同諸国が現在抱えている経済発展上の諸課題について説明する。特に、輸入代替工業化、貿易赤字、財政赤字、債務危機問題、インフレーション、所得格差、失業・不完全就業などのラテンアメリカ経済が抱える経済的特徴とその特徴を生み出す要因とメカニズムについて議論する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC319	ラテン・アメリカ経済研究	1	1.0	1・2	秋AB	火2	8A102	箕輪 真理	本講義では、ラテンアメリカ諸国における経済発展の諸課題に焦点をあてる。具体的には、植民地時代からの歴史的背景、資源輸出国としての課題、所得分配の不平等、様々な社会問題、教育・医療・保健を含む社会開発の課題、輸入代替工業化の成果と限界などのトピックについて議論する。経済学の分析ツールをラテンアメリカの文脈の中で適用し、どのような経済開発・社会開発上の課題が導き出せるかを検討する。	
OABC320	朝鮮語文化研究	1	1.0	1・2	春AB	木2		金 仁和	本講義では、構文構造における日・韓両言語の対照を行う。特に、倒置文と省略文を中心として、日・韓の相違点から言語運用における文化的影響を探ることにより、朝鮮語と朝鮮語文化に関する理解を深める。	人社A514 01DP219と同一。
OABC321	ロシア語文化研究	1	1.0	1・2	春AB	火5	8A102	加藤 百合	ロシア語の基本文法と必要最低限の語彙・表現を習得し、ロシア及び旧ソ連地域に研究対象として主体的にアプローチするための初歩的コミュニケーション能力を養う。また、文化・教養的側面をより重視した高度な講義を中心に行う。教材として、ロシアの新聞、雑誌、著書の中から取り上げた。文化や社会事情に関わる様々な内容の記事を用いる。	
OABC322	スペイン語文献研究I	1	1.0	1・2	春AB	水2	8A404-2	宮崎 和夫	本講義では、スペイン語で書かれた学術論文を講読する。テキストは、初回の授業で参加者と話し合い、学生のスペイン語文献に関する関心や学生の研究テーマにしたがって決める。スペイン語の基礎的トレーニングを文献講読を通じて行うことにより、ラテンアメリカを含むスペイン語圏に関する学生の研究の深化に貢献する。	教室:未定
OABC323	スペイン語文献研究II	1	1.0	1・2	秋AB	水2	8A404-2	宮崎 和夫	本講義では、スペイン語文献研究Iでの学習を踏まえ、スペイン語で書かれた学術論文を講読する。テキストは、初回の授業で参加者の関心と研究テーマに基づき話し合って決めるが、スペイン語文献研究Iとは異なるテキストを用いる。スペイン語の読解能力を文献講読を通じて行うことにより、ラテンアメリカを含むスペイン語圏に関する学生の研究の深化と発展に貢献する。	教室:未定
OABC800	東南アジア・オセアニア研究演習AI	2	1.0	1・2	春AB	火5	8A409	モハメド マレク アブドゥル, 茅根 由佳, 堤 純, 外山 文子	This seminar aims to deepen and develop the understanding of the research questions of Master thesis. Each student is requested to give a presentation on his/her thesis outline and literature review regularly. Professors will also provide a presentation of their research occasionally in the seminar.	西暦偶数年度開講。 01DQ505と同一。 英語で授業。
OABC801	東南アジア・オセアニア研究演習AII	2	1.0	1・2	秋AB	火5	8A409	モハメド マレク アブドゥル, 茅根 由佳, 堤 純, 外山 文子	Based on the study on seminar on Southeast Asia and Oceanian Studies AII, this seminar aims to deepen and develop the understanding of the research method of Master thesis. Each student is requested to give a presentation on progress of his/her thesis regularly. Professors will also provide a presentation of their research occasionally in the seminar.	総A217A 西暦偶数年度開講。 01DQ507と同一。 英語で授業。
OABC802	東南アジア・オセアニア研究演習BI	2	1.0	1・2					This seminar aims to deepen and develop the research of Master thesis. Each student is requested to give a presentation on progress of his/her thesis, including results of analysis, regularly. Professors will also provide a presentation of their research occasionally in the seminar.	西暦奇数年度開講 01DQ506と同一。 英語で授業。 2020年度開講せず。
OABC803	東南アジア・オセアニア研究演習BII	2	1.0	1・2					Based on the study on seminar on Southeast Asia and Oceanian Studies AII, this seminar aims to deepen and develop the research of Master thesis. Each student is requested to give a presentation on progress of his/her thesis, including results and discussion, regularly. Professors will also provide a presentation of their research occasionally in the seminar.	西暦奇数年度開講 01DQ508と同一。 英語で授業。 2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC804	中央ユーラシア研究演習AI	2	1.0	1・2	春AB	水1	8A107	川崎 レスリー タック, ダダバエフ ティムール, 塩谷 哲史	中央ユーラシア地域に関する研究課題に対して、論文構想や先行研究のレビューを通して、論文指導を行う。特に、政治学・国際関係論、政治学・メディア論および歴史学の手法を用いて、主に中央ユーラシアの政治、国際関係、公共政策、歴史についての課題の論文指導を行う。中央ユーラシア研究演習AIでは特に、学生は、論文構想や先行研究のレビューを報告することが求められる。	西暦偶数年度開講。
OABC805	中央ユーラシア研究演習AII	2	1.0	1・2	秋AB	水1	8A107	川崎 レスリー タック, ダダバエフ ティムール, 塩谷 哲史	中央ユーラシア地域に関する研究課題に対して、分析方法を学ぶことを通じて、論文指導を行う。特に、政治学・国際関係論、政治学・メディア論および歴史学の手法を用いて、主に中央ユーラシアの政治、国際関係、公共政策、歴史についての課題の論文指導を行う。中央ユーラシア研究演習AIIでは特に、学生は、収集した史料・資料、データを含めた分析方法を報告することが求められる。	西暦偶数年度開講。
OABC806	中央ユーラシア研究演習BI	2	1.0	1・2					中央ユーラシア地域に関する研究課題に対して、分析結果の解析や解釈の方法を学ぶことを通じて、論文指導を行う。特に、政治学・国際関係論、政治学・メディア論および歴史学の手法を用いて、主に中央ユーラシアの政治、国際関係、公共政策、歴史についての課題の論文指導を行う。中央ユーラシア研究演習BIでは特に、学生は、収集した史料・資料、データに基づく分析結果を報告することが求められる。	2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講。
OABC807	中央ユーラシア研究演習BII	2	1.0	1・2					中央ユーラシア地域に関する研究課題に対して、修士論文の総括を目指して、論文指導を行う。特に、政治学・国際関係論、政治学・メディア論および歴史学の手法を用いて、主に中央ユーラシアの政治、国際関係、公共政策、歴史についての課題の論文指導を行う。中央ユーラシア研究演習BIIでは特に、学生は、論文の全体を報告することが求められる。	2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講。
OABC808	中東・北アフリカ研究演習AI	2	1.0	1・2	春AB	金5	3K426	柏木 健一	開発経済学のアプローチや主要理論を理解するとともに、天然資源や水資源の制約、人口増と人口転換、国際的労働移動などの中東・アフリカ経済の主要課題を演習形式で学習する。特に、他の途上国経済との比較分析を通して、中東・北アフリカ経済の構造とメカニズムを考察する。また、学生の研究テーマに応じて、修士論文の指導を行う。学生は、問題設定や仮説、分析枠組、使用するデータを含む修士論文の研究計画について報告する。	西暦偶数年度開講。 01DF654と同一。
OABC809	中東・北アフリカ研究演習AII	2	1.0	1・2	秋AB	金5	3K426	柏木 健一	開発経済学における理論モデルや実証分析の方法を学ぶとともに、資本蓄積と技術進歩の停滞、所得・賃金格差拡大、労働市場の不均衡等を含む中東・北アフリカ経済の主要課題を演習形式で学習する。特に、中東・北アフリカ経済を含む途上国経済の実証分析のレビューを基に、中東・北アフリカ経済の特殊性を理解する。また、学生の研究テーマに応じて、修士論文の指導を行う。学生は、使用するデータや分析結果と考察を含む修士論文の進捗について報告する。	西暦偶数年度開講。 01DF655と同一。
OABC810	中東・北アフリカ研究演習BI	2	1.0	1・2					開発経済学のアプローチや主要理論を理解するとともに、教育格差、失業・不完全就業、貧困などの中東・アフリカ経済の主要課題を演習形式で学習する。特に、他の途上国経済との比較分析を通して、中東・北アフリカ経済の構造とメカニズムを考察する。また、学生の研究テーマに応じて、修士論文の指導を行う。学生は、問題設定や仮説、分析枠組、使用するデータを含む修士論文の研究計画について報告する。	西暦奇数年度開講 01DF656と同一。 2020年度開講せず。
OABC811	中東・北アフリカ研究演習BII	2	1.0	1・2					開発経済学における理論モデルや実証分析の方法を学ぶとともに、貿易・投資の停滞や農業発展の制約を含む中東・アフリカ経済の主要課題を演習形式で学習する。特に、中東・北アフリカ経済を含む途上国経済の実証分析のレビューを基に、中東・北アフリカ経済の特殊性を理解する。また、学生の研究テーマに応じて、修士論文の指導を行う。学生は、使用するデータや分析結果と考察を含む修士論文の進捗について報告する。	西暦奇数年度開講 01DF657と同一。 2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC812	ヨーロッパ研究演習AI	2	1.0	1・2	春AC	応談		臼山 利信	言語学の手法を用いたヨーロッパ地域研究の基本的アプローチを理解しつづ、先行研究のレビュー等を通して、論文指導を行う。特に、ロシア語圏の言語問題や言語政策、言語教育に関する地域研究の方法論を学ぶ。学生は、論文構想や先行研究のレビュー、分析枠組、資料・史料やデータの収集、フィールドワーク等含む研究計画を報告することが求められる。	西暦偶数年度開講。
OABC813	ヨーロッパ研究演習AII	2	1.0	1・2	秋AB	応談		臼山 利信	ヨーロッパ研究演習AIでの学習を踏まえ、ヨーロッパ地域に関する研究に対して、分析方法を学ぶことを通して、論文指導を行う。特に、言語学の手法を用いて、主にロシア語圏の文化・社会についての課題の論文指導を行う。ヨーロッパ研究演習AIIでは特に、学生は、資料・史料やデータの収集を含めて分析方法を報告することが求められる。	西暦偶数年度開講。
OABC814	ヨーロッパ研究演習BI	2	1.0	1・2					言語学の手法を用いたヨーロッパ地域研究の基本的アプローチを理解しつづ、先行研究のレビュー等を通して、論文指導を行う。特に、ロシア語圏の文化問題や文化政策、文化教育に関する地域研究の方法論を学ぶ。学生は、論文構想や先行研究のレビュー、分析枠組、資料・史料やデータの収集、フィールドワーク等含む研究計画を報告することが求められる。	2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講。
OABC815	ヨーロッパ研究演習BII	2	1.0	1・2					ヨーロッパ研究演習BIでの学習を踏まえ、言語学の手法を用いたヨーロッパ地域研究のアプローチに関する理解を深めつつ、修士論文の指導を行う。特に、ロシア語圏文化問題や文化政策、文化教育に関する地域研究を深化させる。学生は、収集した資料やデータによる分析結果、フィールドワークによる調査結果などを報告することが求められる。	2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講。
OABC816	ラテン・アメリカ研究演習AI	2	1.0	1・2	春AB	月4	8A409	箕輪 真理,ウラノエジソン ヨシアキ	ラテンアメリカ地域に関する研究に対して、論文構想や先行研究のレビューを通して、論文指導を行う。開発経済学や社会学の手法を用いて、主にラテンアメリカの経済、公共政策、社会、文化に関する課題の論文指導を行う。ラテン・アメリカ研究演習AIでは、学生は、論文構想や先行研究のレビューを報告することが期待される。	西暦偶数年度開講。
OABC817	ラテン・アメリカ研究演習AII	2	1.0	1・2	秋AB	月4	8A409	箕輪 真理,ウラノエジソン ヨシアキ	ラテンアメリカ地域に関する研究に対して、分析方法を学ぶことを通して、論文指導を行う。開発経済学や社会学の手法を用いて、主にラテンアメリカの経済、公共政策、社会、文化に関する課題の論文指導を行う。ラテン・アメリカ研究演習AIIでは、学生は、資料やデータの収集を含めて分析方法を報告することが期待される。	西暦偶数年度開講。
OABC818	ラテン・アメリカ研究演習BI	2	1.0	1・2					ラテンアメリカ地域に関する研究に対して、分析結果の解釈や考察の方法を学ぶことを通して、論文指導を行う。開発経済学や社会学の手法を用いて、主にラテンアメリカの経済、公共政策、社会、文化に関する課題の論文指導を行う。ラテン・アメリカ研究演習BIでは、学生は、収集した資料やデータによる分析結果を報告することが期待される。	2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講。
OABC819	ラテン・アメリカ研究演習BII	2	1.0	1・2					開発経済学や国際社会学の観点から、ラテン・アメリカ地域研究のアプローチに関する議論を深めるとともに、分析方法を学ぶことを通して、修士論文の指導を行う。開発経済学と国際社会学を融合させた分析枠組や分析手法を用いて、ラテン・アメリカの社会開発政策や社会政策に関する研究の方法を習得する。学生は、収集した資料やデータによる分析結果、フィールドワークによる調査結果などを報告することが期待される。	2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講。
OABC820	国際協力研究インターンシップ1	3	1.0	1・2	夏季休業中	応談		箕輪 真理	独立行政法人国際協力機構筑波国際センター(以下、JICA筑波)が海外研修員向けに実施している直営型研修コースにインターンシップとして参加する。技術協力活動の現場に接する機会を通して、農村開発分野、国際協力分野における途上国社会のニーズや問題点、必要とされる国際協力や開発援助の在り方などに関する理解を深めることを目的とする。参加者は、参加プログラム終了後に受講レポートの提出し、提出されたレポートと講座への出席状況に基づき、評価が行われる。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC821	国際協力研究インターンシップII (SEND活動)		3	1・2	秋ABC	応談		箕輪 真理	長期休暇中あるいは留学中に行った日本文化を進める活動に対して単位を与える。主に海外の大学、研究センター、大使館、自治体等の公的機関において日本語・日本文化の発信を行う。本インターンでは、現地社会との関係の中で実務経験を積み日本と現地の懸け橋となる人材の具体像を学ぶこと、大学での学びと社会における経験を結びつける意識を育て新たな学習意欲を喚起すること、多世代・多国籍の人々と人間関係を形成しコミュニケーション能力を高めることなどを目的としている。	
OABC822	国際協力研究インターンシップIII		3	3.0	1・2	秋ABC		箕輪 真理	長期休暇中あるいは留学中に行った国際機関や企業でのインターンシップ活動に対して単位を与える。主に海外の企業、国際機関、団体等におけるインターンシップ活動を評価の対象とする。本インターンでは、現場の視点から自分が専門とする国・地域を学ぶ機会を得ること、大学での学びと社会における経験を結びつける意識を育て新たな学習意欲を喚起すること、それぞれの職業適性や大学院修了後の将来設計について主体的に考える機会を得ることなどを目的としている。	01DP750と同一。

専門科目(経済・公共政策分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC400	公共政策論B		1	1.0	1・2				The main goals of this course are to introduce students to the major theoretical streams in public policy and policymaking, as well as explore approaches to public policy research that combine policy and political analysis. The fundamental goal of public policy is problem-solving, and that is also the main objective of the class. Together, we will explore how this goal is accomplished. We will do so by identifying the relevant policy actors and institutions, policy needs and constraints, and, ultimately, why some public policies succeed and others fail.	英語で授業。 2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講。
OABC401	国際社会と法		1	1.0	1・2	秋AB	水3	8A101 守田 智保子	国際社会における刑事手続の在り方について考察する。日本の刑事手続を概観し、国際的観点から見える問題点について議論するとともに、国際社会における犯罪、刑事手続とその問題点等について議論する。これにより、グローバル化する国際社会における刑事手続と法に関する問題点についての理解を深める。	01DP685と同一。
OABC402	国際貿易論		1	2.0	2	春AB	月5,6	3B203 黒川 義教	This course will study traditional and new trade theories and their evidence and will also study selected topics in international trade, such as trade and wage inequality, by applying the traditional and new trade theories.	01DZ654と同一。 英語で授業。
OABC403	公共経済学		1	2.0	2	春AB	火5,6	3K226 内藤 久裕	This course will cover advanced issues in theoretical, empirical, and potential issues in public economics.	01DZ651と同一。 英語で授業。
OABC404	ミクロ経済学		1	2.0	1	春AB	水・木3	3K220 中野 優子	This course provides students with a deep understanding of graduate-level microeconomics for policy analysis. The topics to be covered include consumer theory, producer theory, game theory, and other related topics in Microeconomics.	01DZ136と同一。 英語で授業。
OABC405	開発経済学I		1	1.0	1・2	春AB	金1	3K219 モハメド マレク アブドゥル	The world economy is rapidly changing, and is confronting many challenges ranging from income inequality/gap, poverty/middle income trap, food insecurity, productivity/skill gap, institutional differences, shocks/conflicts, gender gap, etc. How can we quantify and appreciate these challenges? We examine detailed survey data and look at policies that have been attempted and evaluated scientifically.	Equivalent to OABC406 Development Economics I and 01DZ652 Development Economics 英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC406	開発経済学II	1	1.0	1・2	春AB	金2	3K219	モハメド マレク アブドゥル	The world economy is rapidly changing, and is confronting many challenges ranging from income inequality/gap, poverty/middle income trap, food insecurity, productivity/skill gap, institutional differences, conflicts, gender gap, etc. What tools do we have to evaluate the different technological and institutional innovations aiming to elucidate these challenges? We examine detailed survey data and policies that have been evaluated usefulness scientifically.	英語で授業。
OABC407	国際金融と政策	1	2.0	1・2	春AB	金5,6	3A212	モゲス アブ ギルマ	The course is an advanced theory and application of international finance theory and policy for graduate students. The main topics for discussion include real business cycle theory, global imbalances, exchange rate determination, short term and long run adjustments to trade flows, sovereign debt and default risks, determinants of international capital flows and multinational production, and international financial policy and coordination.	01DF547, 01DZ656と同一。 英語で授業。
OABC408	経済開発論	1	1.0	1・2	春AB	金4	3K219	柏木 健一	本講義では、開発経済学の主要理論とアプローチについて説明し、発展途上国の経済発展における諸課題について概説することを目的とする。特に、開発の概念、構造変化、経済成長、貧困と不平等の問題等を扱う。経済発展の諸理論やモデルを学ぶことで、学生が開発経済学への理解を深めるとともに、発展途上国の経済発展に関する分析において、興味深い問題設定を行えるようになることを目指す。	01DP743, 01DZ667と同一。 英語で授業。
OABC900	経済学セミナーI	2	1.0	1	秋AB	月3	3K311	モハメド マレク アブドゥル, 箕輪 真理, 内藤 久裕, 柏木 健一, 黒川 義教, モゲス アブ ギルマ, 中野 優子	プログラムの教員全員参加するセミナーで、学生全員が修士論文の構想発表、研究進捗状況を発表する。教員全員から、多角的なコメントを受けることで、問題発見能力、より高いレベルの経済分析能力、プレゼン能力、コメント対応力を身につける。1年次最後に修士論文構想発表を行う。その過程において、2年次生の中間発表会、論文審査口頭試問、優秀論文発表会に出席する。	01DZ610と同一。 英語で授業。
OABC901	経済学セミナーII	2	1.0	2	春AB	月3	3K311	モハメド マレク アブドゥル, 箕輪 真理, 内藤 久裕, 柏木 健一, 黒川 義教, モゲス アブ ギルマ, 中野 優子	経済学セミナーIの受講を踏まえ、プログラムの教員全員参加するセミナーで、学生全員が修士論文の構想発表、研究進捗状況を発表する。教員全員から、多角的なコメントを受けることで、問題発見能力、より高いレベルの経済分析能力、プレゼン能力、コメント対応力を身につける。	01DZ611と同一。 英語で授業。
OABC902	経済学セミナーIII	2	1.0	2	秋AB	応談	3K311	モハメド マレク アブドゥル, 箕輪 真理, 内藤 久裕, 柏木 健一, 黒川 義教, モゲス アブ ギルマ, 中野 優子	経済学セミナーI-IIの受講を踏まえ、プログラムの教員全員参加するセミナーで、学生全員が修士論文の構想発表、研究進捗状況を発表する。教員全員から、多角的なコメントを受けることで、問題発見能力、より高いレベルの経済分析能力、プレゼン能力、コメント対応力を身につける。なお、その過程において、中間発表および修士論文発表会での研究発表を課す。	01DZ612と同一。 英語で授業。
OABC903	公共政策セミナーI	2	1.0	1	秋AB	木1	8A409	モハメド マレク アブドゥル, 箕輪 真理, 川崎 レスリー タック, 柏木 健一, モゲス アブ ギルマ, 毛利 亜樹	本セミナーは、学生が研究を行う上で、また学術論文を書く上で、特に自分の論文や論文を書く上で自分のスキルを向上させることを目的とする。同セミナーは、特に国際関係論の修士課程の学生(JDSプログラム)のために提供されており、より幅広いディスカッションと仲間の学生や教授からのフィードバックのために各自の研究プロジェクトを発表し議論する学生の機会を提供するものである。このセミナーIでは、学生は研究の基本的な方法論とともに、研究発表を通して公共政策や国際関係における幅広いトピックを学ぶことが期待される。	01DQ901と同一。 英語で授業。 原則として、JDS-ABEの学生に限る。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OABC904	公共政策セミナーII	2	1.0	2	春AB	木1	8A409	モハメド マレク アブドウル, 箕輪 真理, 川崎 レス リー タック, 柏木 健一, モゲス アブ ギルマ, 毛利 亜樹	本セミナーは、学生が研究を行う上で、また学術論文を書く上で、特に自分の論文や論文を書く上で自分のスキルを向上させることを目的とする。同セミナーは、特に国際関係論の修士課程の学生(JDSプログラム)のために提供されており、より幅広いディスカッションと仲間の学生や教授からのフィードバックのために各自の研究プロジェクトを発表し議論する学生の機会を提供するものである。このセミナーIIでは、学生は分析の手法を学ぶとともに、研究発表を通して公共政策や国際関係における幅広いトピックを学ぶことが期待される。	01DQ902と同一。 英語で授業。 原則として、JDS-ABE の学生に限る。
OABC905	公共政策セミナーIII	2	1.0	2	秋AB	応談		モハメド マレク アブドウル, 箕輪 真理, 川崎 レス リー タック, 柏木 健一, モゲス アブ ギルマ, 毛利 亜樹	本セミナーは、学生が研究を行う上で、また学術論文を書く上で、特に自分の論文や論文を書く上で自分のスキルを向上させることを目的とする。同セミナーは、特に国際関係論の修士課程の学生(JDSプログラム)のために提供されており、より幅広いディスカッションと仲間の学生や教授からのフィードバックのために各自の研究プロジェクトを発表し議論する学生の機会を提供するものである。このセミナーIIIでは、論文の発展の方法やまとめ方を学ぶとともに、研究発表を通して公共政策や国際関係における幅広いトピックを学ぶことが期待される。	01DQ904と同一。 英語で授業。 原則として、JDS-ABE の学生に限る。
OABC906	インターンシップI	3	1.0	1・2	秋C春季 休業中	応談		箕輪 真理, 内藤 久裕	本科目は、授業で学んだ経済学や公共政策上の知識を実務的経験を通して深めるために、政府機関、研究所、NGO、日本の民間部門、または海外においてインターンシップを行うものである。本インターンシップは主に留学生を対象とし、母国の経済発展に役立つ人材育成するために、大学院生が幅広い行政的な経験を積み、政策立案、行政実務への知識を広げることを目的にインターンシップを奨励する。受講者は、インターンシップに関する報告書を提出する必要があり、職業実習への参加の成果が評価される。インターンシップIは、主に春学期休業中に行われものを対象とする。	
OABC907	インターンシップII	3	1.0	1・2	春C夏季 休業中	応談		箕輪 真理, 内藤 久裕	本科目は、授業で学んだ経済学や公共政策上の知識を実務的経験を通して深めるために、政府機関、研究所、NGO、日本の民間部門、または海外においてインターンシップを行うものである。本インターンシップは主に留学生を対象とし、母国の経済発展に役立つ人材育成するために、大学院生が幅広い行政的な経験を積み、政策立案、行政実務への知識を広げることを目的にインターンシップを奨励する。受講者は、インターンシップに関する報告書を提出する必要があり、職業実習への参加の成果が評価される。インターンシップIIは、主に秋学期休業中に行われものを対象とする。	
OABC908	現地調査プロジェクト 演習	3	1.0	1・2	春ABC	応談		箕輪 真理, 内藤 久裕	本演習では、日本の中央政府や地方自治体においてどのような経済政策や公共政策が実施されているかを学び、授業で学んだ知識を深めるために、日本の政府機関や民間団体を訪問する機会を現地調査を通して、戦後の日本の経済発展や経済成長、産業発展や産業政策の経験、また、経済政策や公共政策の実施の具体的事例について深く考察する。	